

令和元年10月18日
総務部 財政課
電話027-226-2092

中期財政見通しについて

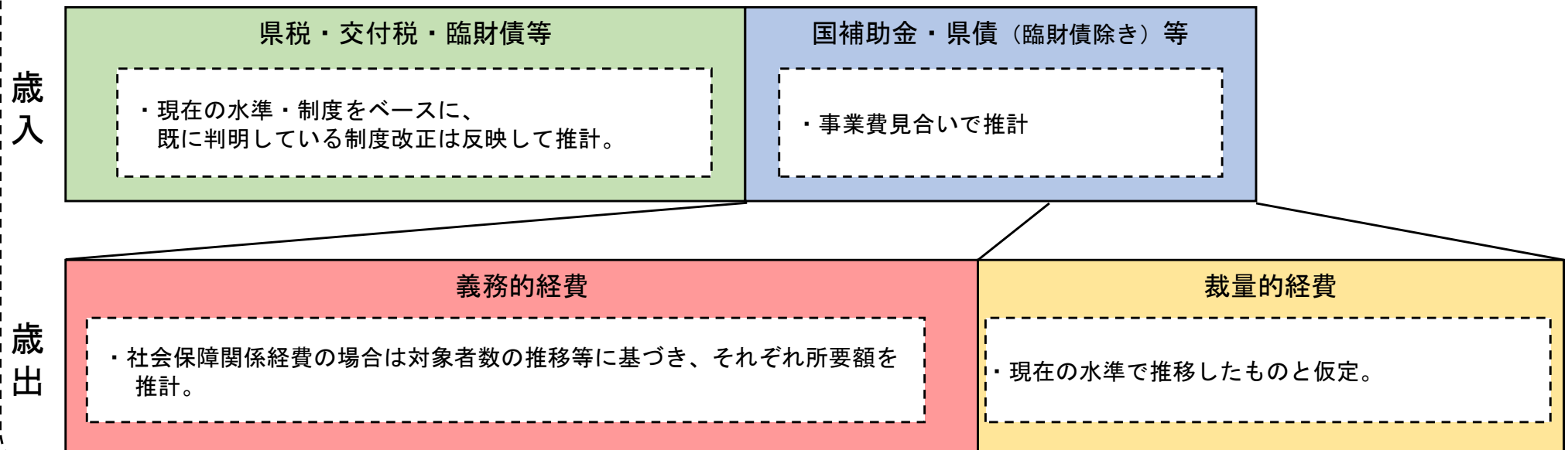
令和元年10月18日 群馬県

中期財政見通し作成の基本的考え方

【背景・ねらい】

- 少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加など、地方財政をめぐる環境は厳しさを増す。
→中長期的な視点を持ち、持続可能な財政運営を行っていく必要。
- そこで、今後の財政運営の参考にするため、今の状態が続けば、今後、県の財政がどうなるかを推計した。

【推計の考え方】・・・ 税収の水準や制度、県の判断で決定できる歳出（裁量的経費）の規模などが現在の水準で推移したものと仮定して、機械的に推計。



群馬県の中期財政見通し

(単位:億円)

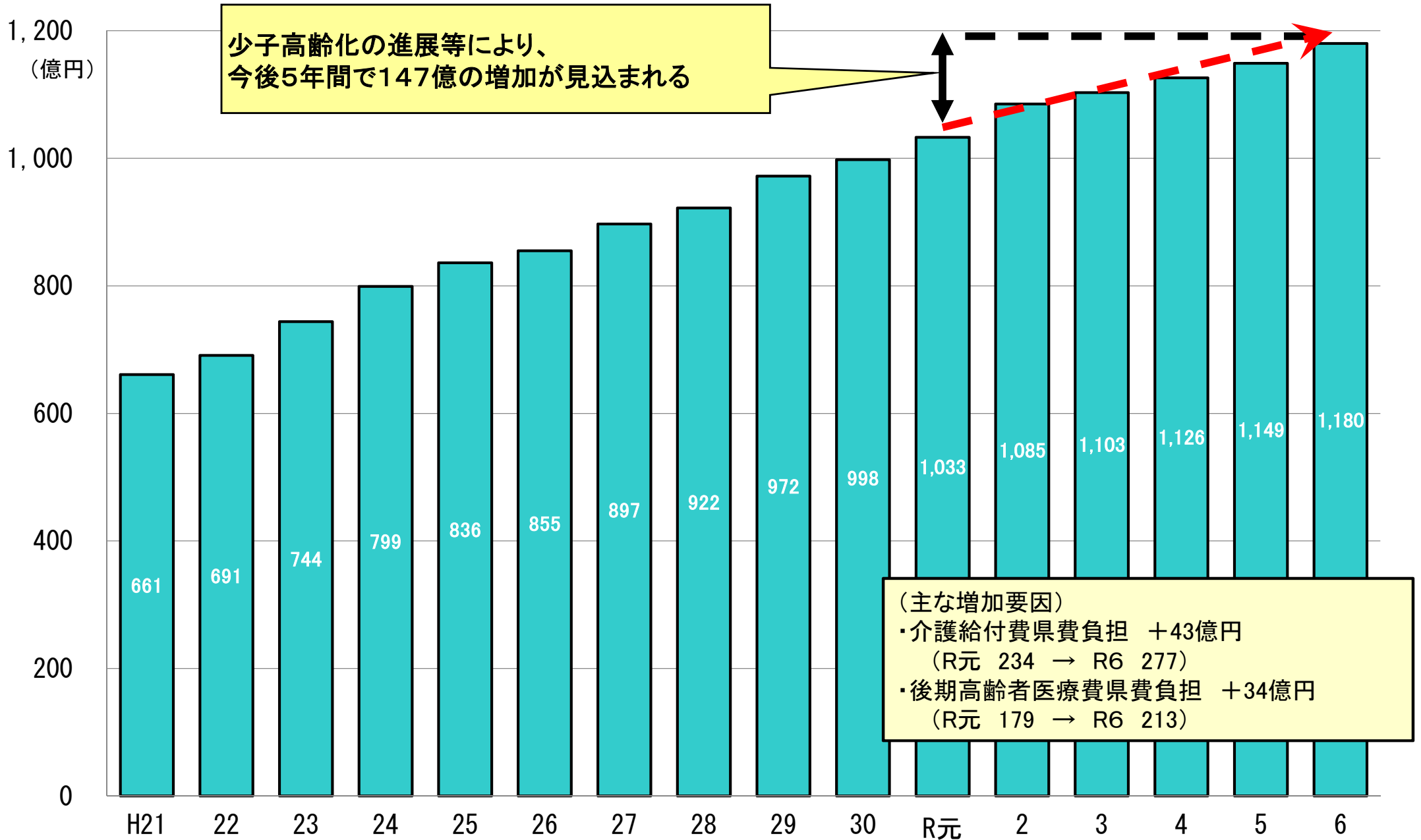
区分		2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)
歳出	人件費	2,201	2,214	2,193	2,192	2,155	2,155
	公債費	1,020	1,009	1,003	1,007	1,005	973
	社会保障関係経費	1,033	1,085	1,103	1,126	1,149	1,180
	投資的経費	1,270	1,056	998	986	985	955
	その他	1,987	2,135	2,212	2,164	2,164	2,164
	歳出合計	7,511	7,499	7,509	7,475	7,458	7,427
歳入	県税・地方消費税清算金	3,205	3,408	3,506	3,440	3,438	3,436
	地方交付税・地方譲与税・地方特例交付金	1,646	1,668	1,668	1,668	1,668	1,668
	県債	1,046	952	898	914	913	887
	その他	1,421	1,275	1,250	1,243	1,241	1,240
	歳入合計	7,318	7,303	7,322	7,265	7,260	7,231

財源不足額 (歳入－歳出)	△ 193	△ 196	△ 187	△ 210	△ 198	△ 196
----------------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

財源対策	基金取崩し	114	114	118	118	118	118
	県債発行	79	82	69	92	80	78

当初予算編成後の基金残高	15	0	0	0	0	0
---------------------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------

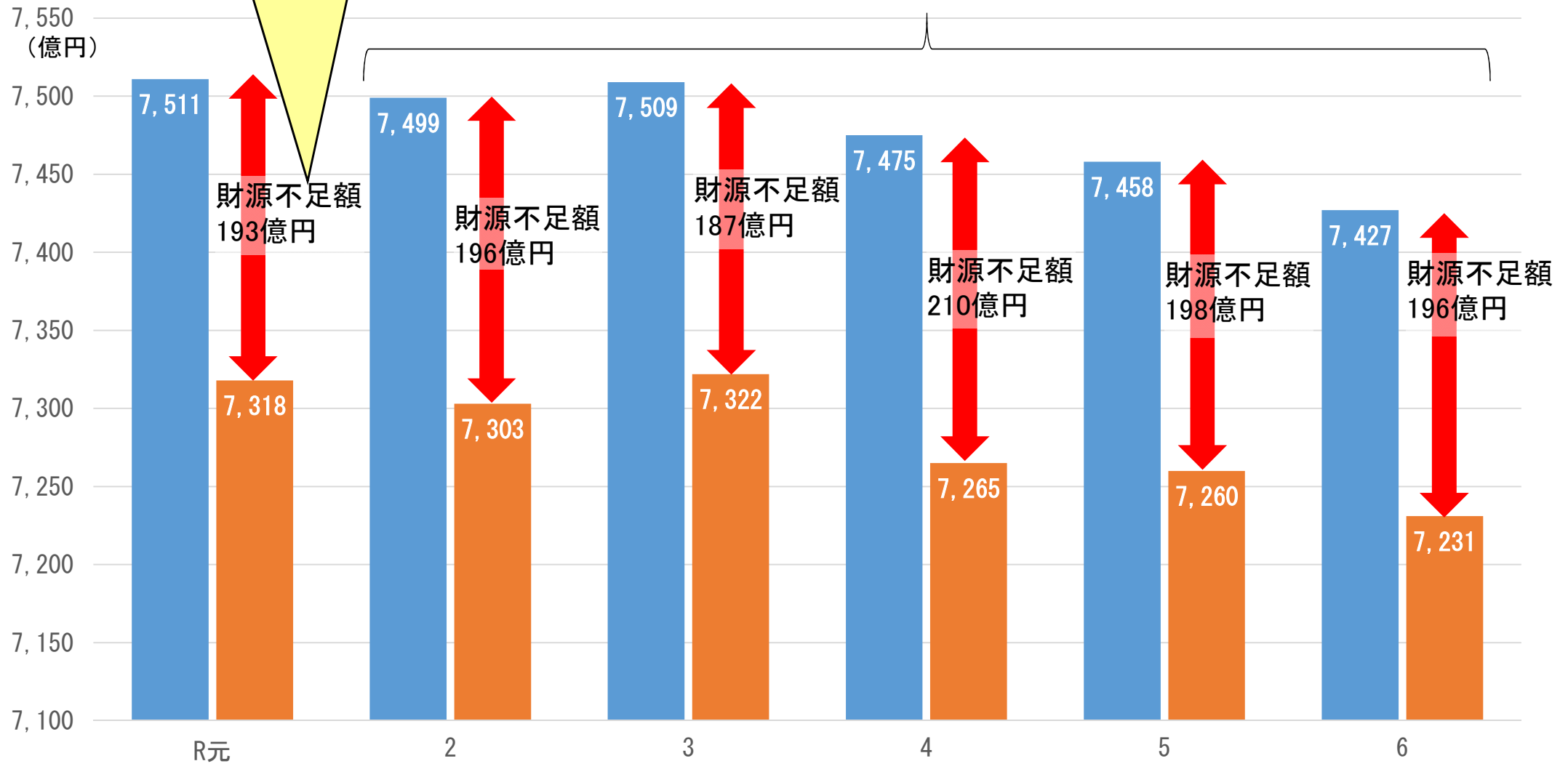
(参考) 社会保障関係経費の見通し



今後の財源不足額の推計

【対応】
貯金の取崩し 114億円
(積立基金89億円、その他基金25億円)
借金(県債※発行) 79億円

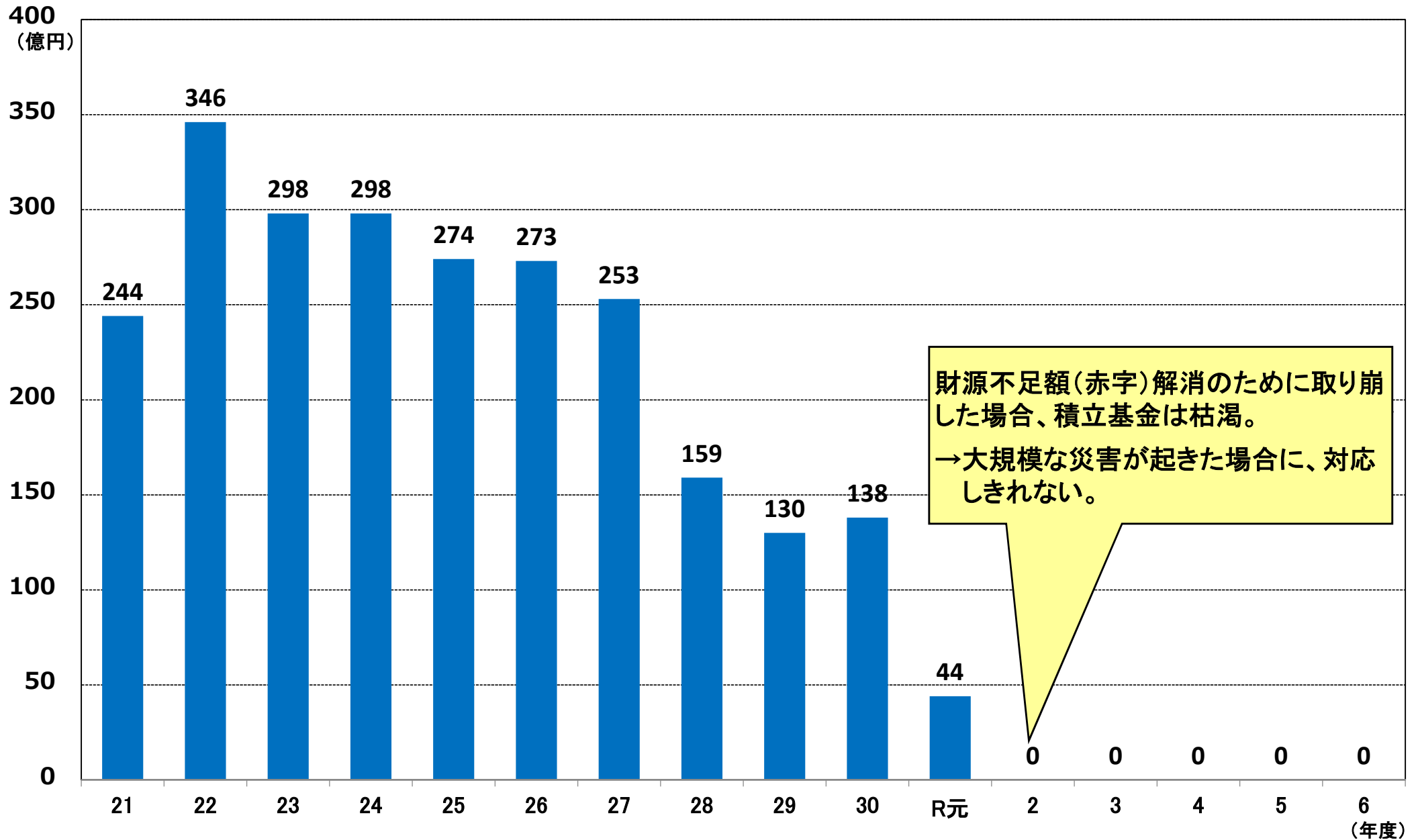
今後も、毎年200億円前後の財源不足額(赤字)が見込まれる。



※財源対策的な起債(退職手当債及び行政改革推進債)

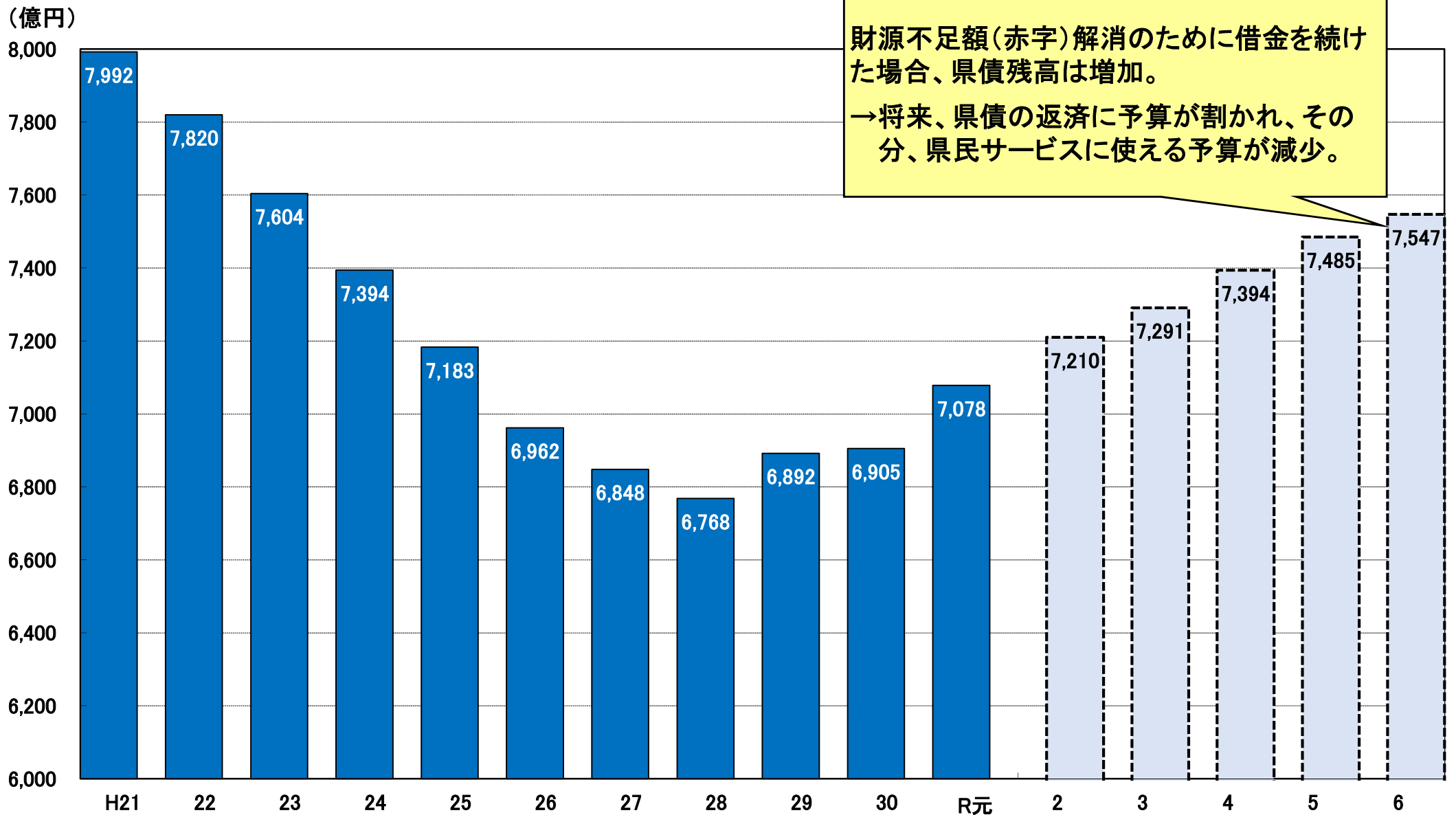
■ 歳入合計 ■ 歳出合計

積立基金の残高の推移



※積立基金＝財政調整基金＋減債基金(満期一括償還の償還準備分を除く)。
※H30までは年度末残高、R元は9月補正後、R2以降は当初予算編成後残高。

県債残高の推移



財源不足額(赤字)解消のために借金を続けた場合、県債残高は増加。

→将来、県債の返済に予算が割かれ、その分、県民サービスに使える予算が減少。

※1 臨時財政対策債を除く。また、基金を全額取り崩してもなお発生する財源不足額を、全て財源対策的な起債で賄ったものと仮定。

※2 公共事業費について、近年の増額補正の実績を反映して1,000億円とした場合の試算。

(参考:補正後の最終予算額 H29:967億円、H30:1,016億円、R元(9月補正後):1,053億円)

目指すべき方向性

毎年200億円前後の財源不足

行財政改革を行わなければ…

積立基金（貯金）の取崩し

県債発行（借金）

課題① 積立基金の枯渇

- ・基金を取り崩し、枯渇すると、**大規模な災害が起きた場合に対応しきれない。**

課題② 県債残高の増加

- ・将来、県債の返済に予算が割かれ、その分、医療・福祉、教育・子育て、道路等のインフラの維持・整備といった、**県民サービスに使える予算が減少。**

行財政改革を通じて財政の健全性を確保し、
積立基金（貯金）の取崩しや県債発行（借金）に頼らない財政運営を目指す